

—平成16年度横浜市予算(案)の主要事業(一部抜粋)—

(単位:百万円、◎は新規事業)

事業名	概要	予算額
・特別養護老人ホーム整備事業 ◎医療対応促進助成事業	新規11カ所、継続15カ所 医療依存度の高い特養入所待ち者の受け入れ促進のための助成制度の創設	7,978 60
・地域ケアプラザ整備・運営事業 ・地域福祉計画の策定・推進 ・障害児・者施設整備費	新規建設2カ所、継続3カ所  新規建設重症心身障害児施設1カ所、知的障害者入所更生施設2カ所、身体障害者療護施設1カ所	4,414 33 3,467
・障害者の就労援助事業 ◎社会的ひきこもり支援事業	関係団体との協働による社会参加・就労支援策のモデル事業実施とプログラム開発	107 2
・福祉サービスの第三者評価事業 ◎「よこはま福祉・保健カレッジ」(仮称)モデル事業	検討委員会の運営、モデル評価の継続、事業者に対する評価受審料補助(1/2、2カ年補助) ウィリング横浜、福祉系大学、NPO、事業者団体等との連携による新たな研修協力体制の構築	20 7
◎高齢者・障害者等民間住宅あんしん入居事業	高齢者・障害者・外国人世帯等が民間賃貸住宅に円滑に入居し、安心して生活できる仕組みづくり	11
・保育所の整備  ◎産後支援ヘルパー派遣の実施 ◎休日・年末年始保育の実施 ◎病児保育の実施 ◎障害児保育の推進	新規・増設23カ所、継続建設1カ所、余暇教室活用4カ所、整備促進助成・家賃助成等15カ所  1カ所 1カ所：病院・診療所に併設 地域療育センター利用児童で、障害認定を受けていない児童の受け入れに対する助成等	6,114  15 5 18 200
・24時間型緊急一時保育の推進 ◎市立保育所民営化事業 ◎地域における子育て支援モデル事業の実施 ◎次世代育成支援行動計画の策定 ◎放課後キッズクラブ事業	2園 17年4月から民営化する保育園(4園)等への対応 様々な子育て支援事業を総合的に展開できる拠点の設置(4区) 次世代育成支援対策法に基づく横浜市行動計画の策定 小学校を活用し、16年9月から新事業を実施(9カ所)	29 32 10 13 204

—平成16年度川崎市予算(案)の主要事業(一部抜粋)—

(単位:百万円、◎は新規事業)

事業名	概要	予算額
・複合施設の整備 ◎福祉サービス第三者評価制度の確立に向けたモデル事業の実施	多摩区・麻生区・幸区複合施設の整備等	1,482 9
・明るい町づくり対策 ・特別養護老人ホームの整備 ・介護老人保健施設の整備 ◎安心ハウス交流支援事業	ホームレスの自立支援に向けた市民事業への助成等 着工2カ所、完成1カ所、運営開始2カ所 着工1カ所、運営開始1カ所 民間事業者の高齢者グループリビングで展開する複数の地域住民交流事業に対する支援	419 1,257 225 1
◎シニア能力地域活用システム構想事業	シニア世代が地域課題解決を目的とした事業を行うことにより、生きがいをもって活動し、暮らしていける新しいシステムを構築	3
◎知的障害者一般就労促進・支援検討事業	知的障害者の就労とその後の生活支援のあり方について、民間企業活力の導入を視野に入れながら調査・検討	2
◎精神障害者退院促進支援事業 ・知的障害者援護施設の整備	運営委員会、自立支援協議会等の設置し、関連機関の協力により実施 新規知的障害者デイサービス施設1カ所、知的障害者通所授産施設1カ所、知的障害者援護施設1カ所	1 2,028
・保育の充実 ◎子育て短期利用事業 ・子どもの権利擁護に向けて ◎乳児院の開設 ◎母子家庭等自立支援事業	新規建設費補助等4カ所、継続1カ所 幸区で運営開始する乳児院で実施(定員2人) 児童家庭支援センターの開設(幸区・小倉の乳児院に併設)等 幸区・小倉(定員25人) 就労支援体制や職業技術訓練事業の整備。自立支援教育訓練給付金制度も併せて開始	9,984 2 121 156 8
◎不登校対策(フレンドシップかわさき)推進事業	小中連携における実践研究、小学校への「心のかけはし相談員」の配置、不登校対策連絡協議会の設置	3